

お客様の信頼を得るために

お客様満足の実現と信頼を得るために、お客様のニーズを確かめながら、品質の高い製品を供給することに努めています。また、当社の技術力をPRし、お客様との関係を深めていくことに尽力しています。

お客様満足を実現するために

お客様満足の実現のためには、お客様がどのようなことに困らされていて、どのようなことを望まれているのかというニーズの的確な把握と原因の分析が欠かせません。原因分析により困りごとへの対応方法が変わってくるからです。お客様の満足度は中途半端なものにならないようにコミュニケーションが必要です。例えば工場などの構内の舗装では、トラック等の重車両が通行する部分と乗用車のみ通行する部分では舗装の厚さや材料を変えることなどで耐久性を向上させるとともに予算の効率的な運用が図られます。きめ細かなコミュニケーションにより、施工の時期、条件、品質、近隣の皆様への配慮などを確実に施工部署に伝え、見積もり、設計、施工の各段階に反映させることで、お客様満足の実現に向けて進んでいきます。

利用者目線でのものづくりのために

当社が施工する施設は建設後多くの方々に利用されます。歩道の遮熱性舗装は、ヒートアイランド現象への対応とともに歩行者が少しでも歩きやすい道をとというニーズに応えたものです。建築用遮熱塗料は節電対策からも注目されています。

道路も同様に「交通事故が起きにくく安全に走れる道路」に対して、雨天時の水はねを防止するための排水性舗装や工事に伴う道路通行止めの時間短縮を図るための工法や材料の開発等最終的な利用者の利便性を追求しています。

確かなものづくりのために

お客様による工事目的物の検査、引き渡しに至る各段階で

様々なチェックを行います。施工の各段階での、品質検査、結果の整理・確認を行い、不良原因の早期発見・排除を進め、品質の確保に努めています。そしてお客様が満足する品質を提供できる体制を整えています。また、事前に社内での完成検査を行い、引き渡しをできる状態が厳重なチェックをした上で、お客様の完成検査を受けています。



国土交通省九州地方整備局長からいただいた工事成績優秀企業認定書

技術力と技のPRのために

当社の技術やソリューションをPRするコミュニケーションツールとしてニッポ・ニュースやホームページがあります。

ニッポ・ニュースは当社が持つ様々な工法についての情報を掲載したもので、年6回発行し、お客様にお届けしています。タイムリーな施工実績の紹介が好評です。

当社ホームページにも「技術情報」のコーナーを設けており、誰でも簡単に当社の技術に関する情報を閲覧することができます。また、「問い合わせフォーム」を通じていただくご質問・ご要望には、担当者が迅速にお答えしています。2010年度は272件、2011年度には239件のご質問・ご要望をいただきました。

ニッポ・ニュースは、ホームページよりご覧になれます。

<http://www.nippo-c.co.jp/>



アンケートより

- 建設業は官と癒着して利益を貪っていると思われがち。一企業として真摯に努力し、いいものを作っているとしっかり伝えてほしい。(従業員)
- NIPPOが部外者からどのように思われているか知りたい。(従業員)



私のCSR 九州支店工事グループ 松岡明

最高の品質を顧客へ提供する事を考え仕事に取り組んでいます。それを実施する上で、具体的な計画→実行→検証→改善が欠かせません。現場では、工程ごとに品質の検証を行い、必要に応じて改善することで、品質向上を図っています。

従業員とのかかわり

人間尊重いきいき委員会

当社では、「人間尊重」をCSRの柱の一つとして位置づけ、「人間尊重いきいき委員会」を設置し、「労働環境整備の推進」「健康増進(心とからだ)の推進」「高齢者・障害者雇用の推進」「次世代育成支援対策の推進」および「人権問題に関する啓発活動の推進」に取り組んでいます。また、能力開発、資質の向上のための従業員教育を充実させ、社会に誇れる従業員の育成を図ります。

労働環境整備の推進

建設産業においては、天候などの自然環境や交通事情により進捗状況や施工方法が左右されるため、労働時間が不規則となる傾向があります。このため不定期に過重労働になる場合があり、健康障害防止対策の徹底が求められています。当社ではこうした問題に対して、労使で構成する労働時間検討委員会にて対応策を検討し、実施しています。過重労働による健康障害防止対策としては、疲労蓄積度セルフチェックを実施し、必要に応じて保健師の面談や医師の面接を行っています。そのほかの職場における問題についても、労使共通の認識を得られるよう各支店の労使懇談会などで話し合いの場を設け、より良い労働環境の実現に向けて努力しています。

健康増進(心とからだ)の推進

従業員の健康管理は、労働安全衛生法に則した定期健康診断を基本として、保健師の指導や本人が検査項目を選択できるオプション健診を取り入れ、きめ細かな健診ができるように配慮しています。メンタルヘルスについては、対応マニュアルを社内イントラネットに掲載して従業員に周知しています。今後も従業員の心身両面にわたる健康づくりと、従業員を支える家族の健康管理に配慮していきます。



私のCSR 関東第二支店 小林淳二

労働環境をより良くすることが、心の健康の助けとなり、お互いを尊重し合い、充実した生活につながるものと考えています。そのために、明るい職場づくりやちょっとした声かけなど、仕事のしやすい環境作りを心掛けています。

高齢者・障害者雇用の推進

健康で、働く意欲のある定年退職者に、「生涯現役」として活躍していただくため、満65歳までの再雇用制度を導入しています。また、障害者の雇用については、全国の支店(12カ所)ごとに法定雇用率(1.8%)の達成を目標に定め、2012年6月1日現在の雇用率は2.11%となっています。

次世代育成支援対策の推進

仕事と子育ての両立が可能な働きやすい環境を作ることで、従業員がその能力を十分に発揮できるようにするため、2010年4月からの5年間で ①育児・介護休業法などの諸制度の周知 ②年次有給休暇の取得日数の増加(年間7日/人)③子供が保護者である従業員の働いている姿を見学できる「子ども参観日」の完全実施を目標に定め、取り組んでいます。

人権問題の啓発活動

人権問題に対する理解を深めるため、従業員への啓発活動を推進しています。今後も研修などを通じ、従業員の意識向上を図っていきます。

従業員教育

従業員教育の一つとして、CSRの徹底を図るために、業務運営に直結した本社部門連携研修を実施しています。一人ひとりがCSRの重要性を認識し、日常業務でのCSRの確実な実践により企業価値を高めることを目指します。

アンケートより

- 従業員(父親)の働いている姿を子供に見せる「子ども参観日」の実施は良いことだと思います。(取引先)
- 欄外の従業員による「私のCSR」で各部署におけるCSRの具体的な取り組みがわかってよかった。(従業員)

社会とのコミュニケーション

災害復旧支援活動

当社では、災害時のインフラ復旧などの重要な役割を社会から期待されていることを深く認識し、長年培ってきた土木技術と全国の事業所網を活かして、地震をはじめとする自然災害が発生した場合には、復旧支援体制を組んで、いち早く現場に駆けつけます。

人命救助・消火など緊急車両の通行や人員・援助物資の輸送など、災害時の「道路復旧による通行の確保」は、極めて重要です。当社は、地元自治体等と連携して、全力で道路の復旧にあたり、一日も早い復興を支援します。

首都圏直下型地震を想定してのBCPIは、2011年国土交通省関東地方整備局から建設会社における「災害時の基礎的事業継続力」の認定更新を得ていますが、今後も、訓練等を通じてさらに見直し、充実を図っていきます。

社会貢献活動

■ 地域活性化・スポーツ振興への取り組み

当社は、日本最大の自転車ロードレース競技「ツール・ド・北海道」に、20年以上にわたり協賛するとともに参戦を継続しています。「Team NIPPO」

は、2011年の第25回大会にも出場し、帯広市から3日間で延べ580kmを走破し、U-23賞を除く個人総合時間賞、個人総合ポイント賞、個人総合山岳賞、団体総合時間賞の4冠を達成しました。この他、ツアーオブジャパン、ジャパンカップサイクルードレース等、シーズンを



ツール・ド・北海道で4冠を達成した「Team NIPPO」

通じて数々の大会へも参戦を行い、自転車競技の振興をお手伝いしています。

このほか、剣道部は各種大会で連続入賞、テニス部は関東実業団や全国実業団へ駒を進めるなどの活躍を通じて、スポーツ振興に取り組んでいます。

■ 地域とのコミュニケーション

当社は、アスファルト合材の販売数量に応じて、売り上げの一部を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付する独自の取り組みを行っているほか、スポーツ、学術・研究をはじめ国際交流等の寄付を通じて、社会の期待に応えています。

また、全国400以上の事業所では、地域の祭礼や町内会・子供会等の交通安全、防犯活動等のイ



「世界の子どもにワクチンを日本委員会」よりいただいた感謝状の授与式

ベントに従業員が積極的に参加するとともに、多くの事業所で、独自の清掃・環境整備活動を自主的に実施しています。



豊田出張所での交通安全活動

アンケートより

- 多少ですが内容が固いと感じました。もっと地域密着、貢献しているような記事があってもよいのではないのでしょうか。(取引先)
- 合材売上の一部を寄付する活動は大変評価できる。今後は環境配慮も含めカーボンオフセットなどを導入し、さらなる社会貢献へ取り組んでほしい。(従業員)
- 社会性報告についてもっと具体的な活動事例があるとよい。(従業員)



私のCSR 尾道・松江自動車道大月舗装工事事務所 岡本隆久

国官工事担当者として、工事受注のたびに施工場所に行き、地域の人たちとかわりを持っています。期間中は清掃活動や地域イベント等に参加するなどの地域貢献を実施しています。これからも地域とコミュニケーションを図り、その地域に密着した貢献活動を行いたいと考えています。